

令和8年度

予 定 価 格 書

- 1 工事番号 標識・標示第4号
- 2 工事名称 道路標示補修工事

a) 予定価格

金30,410,000円 (消費税抜き価格)
(上記価格に100分の110を乗じて得た額をもって予定価格とする)

b) 最低制限価格

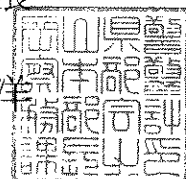
金27,600,000円 (消費税抜き価格)

上記のとおり予定価格を定める。

令和 8年 6月 15日

岡山県警察本部会計課長

家 近 洋



令和8年度

工 事 設 計 書

No. 標識・標示第4号

単価適用月：令和8年5月
週休2日工事(発注者指定型)

工事名：道路標示補修工事

工事場所：岡山県高梁市津川町今津地内(国道180号)外

請負工事費		増減変更		
¥33,451,000		増	減	更正
契 約		竣 工		
着 工		延 期		

工 事 番 号		工 事 場 所			
8-4 号		岡山県高梁市津川町今津地内（国道180号）外			
(単位:円)					
区別	内 容	金 額		週休2日関係	月単位
直接工事費	① 路上標識工事				
	①' うち大型標識柱材料費				
	② 路側標識工事				
	③ 標示工事		12,678,445		
	④ 廃材処理			単価	週休2日補正係数
	⑤ 交通誘導員 B		1,329,570	16,500 ×	1.02 × 79 人
	(A) 直接工事費計		14,008,015	①+②+③+④+⑤	
間接工事費	共通仮設費対象額		14,008,015	(A) - ①'	
	α 共通仮設費率＝{率標準値×施工地域補正係数}×週休2日補正係数 (16.97)＝{(12.00)×(1.40)}×(1.01)			市街地(DID補正)	
	(B) 共通仮設費		2,377,000	共通仮設費対象額× α	
	(C) 純工事費		16,385,015	(A) + (B)	
	現場管理費対象額		16,385,015	(C) - ①'	
	β 現場管理費率＝{率標準値×施工地域補正係数}×週休2日補正係数 (52.76)＝{(43.11)×(1.20)}×(1.02)			市街地(DID補正)	
	(D) 現場管理費		8,644,000	現場管理費対象額× β	
(E) 工事原価		25,029,015	(C) + (D)		
一般管理費対象額			25,029,015		
γ 一般管理費率＝率標準値＋契約保証費補正值 (21.52)＝(21.48)＋(0.04)				金銭の保証	
(F) 一般管理費等		5,380,985	一般管理費対象額× γ -5,259		
(G) スクラップ損料					
工事価格			30,410,000	(E) + (F) + (G)	
(単位:円)					
消費税及び地方消費税相当額			3,041,000	税率	10 %
請負工事費			33,451,000		

工事設計内訳書 道路標示補修工事第4号

品 名	仕 様	数量	単位	単価	金額	備考
1. 道路標示工事						
実線	溶融式 厚1.5mm 幅15cm 黄色	8,800.0	m	471	4,144,800	
ゼブラ（横断線）	溶融式 厚1.5mm 幅15cm 白色	412.0	〃	434	178,808	
〃	溶融式 厚1.5mm 幅45cm 白色	4,459.0	〃	997	4,445,623	
矢印・文字	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	4,793.9	〃	740	3,547,486	
	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 黄色	23.2	〃	820	19,024	
抹消	幅15cm換算	168.3	〃	669	112,592	
自転車マーク	溶融式 1日20箇所以上	32.0	個	7,191	230,112	
直接費合計					12,678,445	

道路標識・標示仕様書の特記及び追加事項は、特記仕様書のとおりとする。

特 記 仕 様 書	
工 事 番 号	標識・標示第4号
工 事 名	道路標示補修工事
工 事 場 所	岡山県高梁市津川町今津地内（国道180号）外
項 目	特 記 事 項
・安全対策関係	・ 本工事の施工に当たっては、交通整理員を適切に配置し、一般交通等に支障を及ぼさないように十分注意して施工するものとする。 なお、本工事の交通整理員として延べ 79人を見込んでいる。
・設計積算関係	・ 適用単価地区は、岡山市（旭川以西）を採用している。
・黄色標示に使用する材料について	・ 路面標示用塗料のうち黄色塗料については、鉛・クロムフリー黄色塗料を使用すること。
・工事施工箇所	・ 高梁、新見、真庭警察署管内
・下請負に付する場合について	・ 受注者が工事の一部を下請負に付そうとする場合は、あらかじめ下請負人選定一覧届出書等を提出すること。
・週休2日工事の実施について	・ 本工事は、「発注者指定型」による岡山県週休2日工事（以下「週休2日工事」という。）の対象工事であり、実施に当たっては、本特記仕様書によるほか、別に定める「岡山県週休2日工事实施要領」によるものとする。 1 定義 (1) 週休2日工事における「週休2日」とは、対象期間において、原則として土・日曜日を休日として確保し、現場を完全閉所することをいう。 (2) 「対象期間」とは、現場着手日（準備工事を除く。）から現場完成日までをいう。なお、対象期間内に

項 目	特 記 事 項
	は、計2日の休日と計6日の開所日を有する連続した8日間の期間を1回以上含むものとする。 (3) 「完全閉所」とは、現場事務所での事務的作業を含む、工事現場における全ての作業を中断し、現場を閉所とすることをいう。 (4) 「通期の週休2日の達成」とは、対象期間における土・日曜日の日数と等しい休日である土・日曜日の日数（発注者が認めた振替日を含む。）を確保し現場を完全閉所した場合をいう。 (5) 「月単位の週休2日の達成」とは、通期の週休2日を達成した工事で、かつ、振替日を設定したときには、振替日を作業を行う土・日曜日の前後1週間以内に確保し、現場を完全閉所した場合をいう。 (6) 「完全週休2日（土日）の達成」とは、対象期間全ての週において、休日を土・日曜日に指定し、1週間に2日以上現場を完全閉所した場合をいう。ただし、受注者の責によらず土・日曜日に施工を行わざるを得ない場合は、土・日曜日に代わる曜日（以下、「指定曜日」という。）を指定し、現場を完全閉所するものとする。 2 実施方法 (1) 受注者は、契約後速やかに、監督員と週休2日の内容として、完全週休2日（土日）、月単位もしくは通期の週休2日のいずれかを実施するか工事打合簿等により協議するものとする。また現場着手前に工事打合簿に休日を明示した休日等取得計画表（以下「計画表」という。）を添付し監督員の承認を受けるものとする。 (2) 受注者は、地元条件や天候等によりやむを得ず土・日曜日もしくは指定曜日に作業を行う必要が生じた場合は、振替日を設定し、事前に監督員と工事打合簿等により協議し、承認を受けるものとする。 (3) 受注者は、週休2日工事である旨を工事看板等で現場に掲示するものとする。 3 実施報告 (1) 受注者は、現場完成後速やかに、計画表に対象期間内の休日の取得実績を記入したものを、監督員に提出しなければならない。 (2) 受注者は、前項の計画表の提出と併せて休日の取得実績が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等当該現場を完全閉所したことを確認できるものに限る。）を提示し、監督員の確認を受けなければならない。 4 経費の補正 月単位の週休2日を達成した場合の補正係数を各経費に乗じて予定価格を算出しており、完全週休2日（土日）を達成した場合は、精算時に補正係数を完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数に変更する。また、月単位の週休2日を達成することができなかった場合は、補正なしとして変更する。 5 その他 「岡山県週休2日工事実施要領」及び休日等取得計画表などの参考資料については、岡山県土木部技術管理課ホームページを参照するものとする。

項 目	特 記 事 項
・情報通信機器の活用等による兼任制度について	・ 本工事に配置する主任技術者又は監理技術者が建設業法第26条第3項第1号の規定により他の工事と兼務する場合又は建設業法第26条の5に規定する要件を満たすことにより営業所に専任で配置される技術者と兼務する場合は、建設業法施行規則第17条の2第1項第5号又は第17条の5第1項第5号に規定する人員の配置を示す計画書を本工事の契約の締結時（工期の途中で兼務する場合は兼務を開始する日までに）に提出すること。 また、本工事が一般競争入札（条件付）により契約が締結される場合は、入札公告において建設業法第26条第3項第1号に規定する主任技術者又は監理技術者の配置が認められる場合に限り、営業所に専任で配置される技術者が建設業法第26条の5に規定する要件を満たすことにより本工事の技術者と兼務することができる。

道路標示補修工事総括表：8-4

番号	品名	仕様	数量	実延長(m)	施工延長(m)	換算長(m)	材料延長(m)
1	実線/はみだし禁止	溶融式 厚1.5mm 幅15cm 黄色	6		8800.00		8,800.00
2	ゼブラ(横断線)/自転車横断帯	溶融式 厚1.5mm 幅15cm 白色	16		412.00		412.00
3	ゼブラ(横断線)/横断歩道	溶融式 厚1.5mm 幅45cm 白色	119		3149.20		3,149.20
3	ゼブラ(横断線)/停止線	溶融式 厚1.5mm 幅45cm 白色	365		1309.80		1,309.80
4	横断歩道 予告マーク/予告	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	121	16.51	1997.71	19.80	2,395.80
4	図示 止まれ/止まれ	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	103	18.64	1919.92	22.30	2,296.90
4	図示 右(左)矢印/図示	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	5	6.66	33.30	7.90	39.50
4	図示 直右(左)矢印/図示	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	5	8.91	44.55	10.60	53.00
4	図示 停止位置マークφ30cm/図示	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	4	0.47	1.88	0.50	2.00
4	図示 止/図示	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	1	5.65	5.65	6.70	6.70
5	図示 速度30/図示	溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 黄色	1	19.34	19.34	23.20	23.20
6	(抹消)抹消/横断歩道	幅15cm換算	1		54.00		54.00
6	(抹消)抹消/停止線	幅15cm換算	3		20.10		20.10
6	(抹消)横断歩道 予告マーク/予告	幅15cm換算	5	16.51	82.55		82.55
6	(抹消)実線(巾15cm)黄色/図示	幅15cm換算	1		5.00		5.00
6	(抹消)図示 右(左)矢印/図示	幅15cm換算	1	6.66	6.66		6.66
7	自転車マーク/自転車マーク	溶融式 1日20箇所以上	32	1.53	48.96		48.96
		延長(m)合計			17910.62		18,705.37

※ 溶融式の文字・数字・記号については、重複施工する部分を平均20%と見込み、これを施工実施長に加えた値を材料の使用量として単価を算出するものとする。

工事設計m換算表：8-4

番号	部材名称	数量	材料延長 (m)	単位	備考
1	実線/溶融式 厚1.5mm 幅15cm 黄色	6	8800.00	m	
2	ゼブラ（横断線）/溶融式 厚1.5mm 幅15cm 白色	16	412.00	m	
3	ゼブラ（横断線）/溶融式 厚1.5mm 幅45cm 白色	484	4459.00	m	
4	矢印・文字/溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 白色	239	4793.90	m	
5	矢印・文字/溶融式 厚1.5mm 幅15cm換算 黄色	1	23.20	m	
6	抹消/幅15cm換算	11	168.31	m	
7	自転車マーク/溶融式 1日20箇所以上	32	48.96	個	
	延長(m)合計		18705.37		

※ m換算表の番号に示す仕様と総括表の同一番号に示す仕様が、それぞれ対応するものとする。